

令和元年度八戸市復興計画推進市民委員会意見への対応状況
事前質問・意見一覧表

2. 地域経済の再興

(1) 水産業の再興

No.	内容	担当課
1	<p>資料 4-1 意見への対応状況：P10 No.33</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>国際競争力のある水産物の供給体制の確立に向け、課題や具体的なロードマップを市民に示して理解を得るとともに、関連企業の連携を強化し、弱点や隘路を打開するための取組を進め、生産から流通に至る産業モデルの構築を図る必要がある。</p> <p>(平成 30 年度からの継続意見)</p>	水産事務所
	<p>質問</p> <p>・生産から流通に至る水産業の新しい産業モデルとして、参考ないしは目標となる具体的な先進事例などがありますか。</p>	
	<p>【回答欄】</p> <p>・面白い試みとしてはJR新幹線を活用した「鮮魚輸送」があげられます。朝セリ後の鮮魚をその日のうちに東京の店舗で販売する。さらに、連携している宅配業者による個別配送も考えられています。</p>	

(2) 農林畜産業の再興

No.	内容	担当課
2	<p>資料 4-1 意見への対応状況：P11 No.35</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>環境への配慮と畜産振興の両方にバランスの取れた環境アセスメントの実現に向け、県に対し要件緩和の要望を継続するとともに、畜産振興を図るための各種施策に取り組む必要がある。</p>	農林畜産課 産業労政課
	<p>意見</p> <p>・青森県の環境基準が厳しく、近隣他県に立地した大手畜産業者もあると聞いています。畜産業の一段の発展のために、環境面の配慮をしながら近隣他県並みの環境基準となるよう、県への要望をこれからも継続していく必要があると思います。</p> <p>・地域内の畜産品は素材のまま出荷されるケースが多いようですが、高付加価値化のためにも関連する食品産業などの誘致にも力を入れる必要があると思います。</p>	
	<p>【回答欄】</p> <p>(農林畜産課)</p> <p>・青森県に対し、八戸市重点事業要望の一つとして、「畜産振興のための総合的な支援」の中で、畜産施設に係る青森県環境影響評価条例の規模要件の緩和を要望しており、今後も継続して要望して参ります。</p> <p>(産業労政課)</p> <p>・当市の製造業に占める食料品製造業の割合は、事業所数・従業員数・製造品出荷額等において最も高い業種となっております。今後とも、地域への経済波及効果の高い産業分野に重点を置きながら、企業誘致に向けて取り組んで参ります。</p>	

(3) 企業活動の再興

No.	内 容	担当課
3	資料 4-1 意見への対応状況 : P11 No.36 令和元年度意見書 交通アクセスの利便性を活かした企業誘致の推進や新分野などの産業集積を促進するとともに、高校・大学と連携して地域を支える人材発掘に取り組む必要がある。	産業労政課
	質問 ・10月から開催しているバーチャル産業立地フェアの反響はいかがですか。具体的な問い合わせや相談などはありますか。また、地元企業に協力してもらうことなどはありますか。	
	【回答欄】 ・10月1日から27日までのアクセス状況では、約600人の訪問があり、その8割以上が愛知県や東京などの県外からの訪問となっております。現在のところ、オンライン相談の実績はありませんので、今後も周知に努めて参りたいと考えております。 ・また、既存の誘致企業等には、オンラインフェアの開催開始時に繋がりのある企業への紹介を依頼しておりますので、引き続き、周知面でのご協力がいただければと考えております。	

(4) 観光・サービス業の再興

No.	内 容	担当課
4	資料 4-1 意見への対応状況 : P12 No.40 令和元年度意見書 旧柏崎小学校跡地に整備する八戸三社大祭の山車製作・展示場所については、現在、製作場所の確保に苦慮している他の山車組の利用も想定しつつ、観光展示機能を有し、ミュージアム施設を併設した場所として整備する必要がある。	観光課
	質問 ・旧柏崎小学校跡地の整備計画のコンセプトと現在の課題及び今後のスケジュールをお知らせ下さい。	
	【回答欄】 ・旧柏崎小学校跡地については、地域住民の憩いの場として、また八戸三社大祭の振興と伝承のための山車制作場所として、広場及び山車小屋を整備することで、地域や山車組関係者から意見を伺いながら検討を進めておりますが、両者が希望する山車小屋棟数の調整が課題となっており、具体の整備に着手できていない状況であります。 ・今後のスケジュールとしましては、まず棟数を含めた山車小屋整備案について、地域と山車組等との合意を得られた後、山車小屋建設が可能な用途地域への変更手続きへと進めて参ります。 ・また、同時に広場整備についても住民のご意見を伺いながら整備案を固め、用途地域変更後に、山車小屋及び広場の実施設計、山車小屋の建設、広場の整備の順で進める予定であります。	

No.	内 容	担当課
5	<p>資料 4-1 意見への対応状況 : P12 No.40</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>旧柏崎小学校跡地に整備する八戸三社大祭の山車製作・展示場所については、現在、製作場所の確保に苦慮している他の山車組の利用も想定しつつ、観光展示機能を有し、ミュージアム施設を併設した場所として整備する必要がある。</p>	観光課 新美術館建設推進室
	<p>意見</p> <p>・旧柏崎小学校跡地への山車の展示については継続して整備をお願いするとともに、新美術館が来年完成となる中、中心街への集客と活性化の観点から、新美術館への通年展示を検討してはどうでしょうか。</p>	
	<p>【回答欄】</p> <p>・旧柏崎小学校跡地については、展示機能を含めた山車小屋及び広場を整備することで、地域及びはちのへ山車振興会と意見交換しながら、検討を進めております。</p> <p>・新美術館については、収蔵作品を常設展示するための部屋はあるものの、山車を通年展示できるようなスペースはございません。</p> <p>・しかしながら、新美術館では、地域に関する様々なテーマを深掘りしながら、八戸ならではの美に迫ることを目指していることから、企画の中で八戸三社大祭をテーマとして取り上げることも検討して参ります。</p>	
6	<p>資料 4-1 意見への対応状況 : P13 No.44</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>八戸三社大祭の伝統・文化の継承と観光資源としての発展的活用を目的とした長期ビジョンを関係者間で策定・共有し、一体となって課題解決に取り組む必要がある。(平成 30 年度からの継続意見)</p>	観光課
	<p>質問</p> <p>・長期ビジョン策定に向けて八戸三社大祭運営委員会で把握している諸問題の内容と今後の協議検討のめどをお知らせ下さい。</p>	
	<p>【回答欄】</p> <p>・三社大祭の主催者である八戸三社大祭運営委員会では、山車小屋の確保や、引き子の減少などを問題として把握しており、今後、同委員会内の企画推進部会等が中心となって、八戸三社大祭の継承と活用に向けた長期的な方向性を協議検討していく予定と伺っております。市といたしましても、構成団体として協議に参画し、諸問題の解決に取り組んで参ります。</p>	

No.	内 容	担当課
7	<p data-bbox="183 181 683 215">資料 4-1 意見への対応状況 : P13 No.41</p> <p data-bbox="183 226 411 259">令和元年度意見書</p> <p data-bbox="183 271 1257 342">東京オリンピックなどの国際的なイベントが開催されるこの時機を捉え、インバウンド増加のための集客策を講じる必要がある。</p> <p data-bbox="183 353 248 387">質問</p> <ul data-bbox="193 398 1257 555" style="list-style-type: none"> ・八戸市が世界に知られることでインバウンドの増加を図ることは好ましいと思います。その際、距離的、文化的な差が障害となって情報配信には難しいことが多々あるものと思われます。英仏において八戸市の情報を効果的に発信する事業等を実施している点について、具体的な内容、今後の展開等について情報提供願います。 <p data-bbox="193 566 316 600">【回答欄】</p> <ul data-bbox="193 611 1257 1406" style="list-style-type: none"> ・八戸圏域におけるインバウンド事業を担う（一財）VISITはちのへでは、イギリス・フランスの現地エージェントを通じ、八戸圏域等に関心の高いメディアや旅行会社に対して、観光資源や体験メニューなどの商品・サービスの内容、それらを体験するために必要となる宿泊施設や、移動手段などの情報を継続的に発信しています。 ・また、圏域の魅力ある商品等を直接体験していただくため、今年の2月には、英・仏の旅行メディア等7社を招請し、八戸えんぶりの鑑賞や種差海岸トレッキング体験等を実施しております。 ・これらの活動による具体的な成果としましては、イギリスで月間17万PVを得ている「The travel magazine」に、南部町のいちご狩りや田子ガーリックセンターが掲載されたほか、フランスで、隔月で5万部発行されている「le figaro histoire」（ル・フィガロ・ヒストリエ）に「南部藩の足跡を巡って」と題し、8ページの特集で南部藩の歴史や櫛引八幡宮などが紹介されました。また同じくフランスにおいて、月24万部発行される人気女性誌「BIBA」において、八戸えんぶりや種差海岸などが4ページに亘って紹介されております。 ・今後の展開につきましては、引き続き英・仏を対象に圏域ならではの魅力を継続してメディア等へ届け、コロナ禍が落ち着きをみせ、再び多くの外国人観光客が来訪する日に備えて受け入れ態勢を整えることとしており、市としましても（一財）VISITはちのへと連携して、多くの方々に八戸圏域を訪れていただけるよう取り組んで参ります。 	観光課

3. 都市基盤の再建

(2) 港湾の整備

No.	内容	担当課
8	資料 4-1 意見への対応状況 : P15 No.50 令和元年度意見書 八戸港を取り巻く諸情勢の変化や新たなニーズに対応するため、引き続き八戸港港湾計画の改訂を港湾管理者である県に働きかけていく必要がある。	港湾河川課
	質問 ・八戸港の港湾計画改訂に向けた令和元年度以降の具体的な動きについて教えてください。また、今後の予定やスケジュールがあれば教えてください。	
	【回答欄】 ・港湾計画は、港湾法に基づき港湾管理者が定めることとされており、八戸港においては、平成 30 年代後半を目標年次として青森県が平成 21 年 11 月に改訂しております。 ・当該計画の次期改訂に向けた令和元年度以降の具体的な県の動きについては、昨年度は、港湾利用者等の関係機関を対象として「八戸港の将来を考える勉強会」が開催されまして、今年度も継続する予定であると伺っております。	

4. 防災力の強化

(1) 防災体制の強化

No.	内容	担当課
9	資料 4-1 意見への対応状況 : P17 No.57 令和元年度意見書 賞味期限の近い防災備蓄食品について、フードバンク等へ提供するなど有効活用する方法を検討する必要がある。	防災危機管理課
	意見 ・賞味期限が近づいた防災備蓄食品のフードバンクへの提供を検討するとのことですが、それ以外に、子ども食堂や老人介護施設等への提供も検討してはどうでしょうか。また、防災の日に、それらの食品を使った炊き出しイベントなどを行ってはどうでしょうか。	
	【回答欄】 ・賞味期限が近づいた防災備蓄食品の活用については、フードバンクのほか、委員ご提案の子ども食堂や老人介護施設等への提供、市総合防災訓練等の防災イベントでの活用などを検討して参ります。	

No.	内 容	担当課
10	<p>資料 4-1 意見への対応状況：P13 No.45</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>訪日外国人旅行者の受入体制を整備・強化するため、ホテル等宿泊施設におけるWi-Fi 整備や禁煙化等に対する財政支援に取り組む必要がある。</p> <p>(平成 30 年度からの継続意見)</p>	防災危機管理課
	<p>資料 4-1 意見への対応状況：P17 No.58</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>災害発生時の情報収集や連絡手段としてのほか、近年増加する訪日外国人旅行者の通信手段としても必要性が高いフリーWi-Fi (公衆無線 LAN) の全市的な整備に向けて、庁内各課が連携して取り組む必要がある。</p>	
	<p>質問</p> <p>・Wi-Fi 整備について、P. 17 の No. 58 において 59 箇所の設置まで進んでいるとされています。どこでも使用できるのが理想ですが、経費等の制約条件があります。八戸市として今後取り組む地域、あるいは民間に働きかけていく地域など、目安とする規模を教えてください。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・これまでの取組により、利用者が多く公共性が高い市の施設には概ね整備できたと考えております。新しい施設についても、昨年オープンしたYSアリーナでは建設時に設置しており、現在建設中の新美術館も設置することになっております。民間との連携については、八戸テレビ放送と進めている災害時に無料で使用できる避難所Wi-Fi の整備を今後も継続して進めて参ります。</p>	観光課 情報システム課
11	<p>資料 4-1 意見への対応状況：P17 No.59</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>八戸市公開地理情報システムや防災タウンページの活用促進に向け、市民への周知を強化する必要がある。</p>	防災危機管理課
	<p>質問</p> <p>・災害時、住民のスムーズな避難につなげるため、刻一刻と変わる状況を伝える手段・方法が全国的にも課題となっており、八戸市公開地理情報システムや防災タウンページは有効な情報と考えます。これらについて、活用促進の現在の状況について教えてください。</p> <p>意見</p> <p>・災害時に有効な情報源である八戸市公開地理情報システムや防災タウンページは独立したサイトであることから、ほっとスルメールにリンクを貼るなど市民が必要な情報をスムーズに得られるよう検討いただきたい。</p>	
	<p>【回答欄】</p> <p>・八戸市公開地理情報システムについては、利用者がアクセスしやすいよう、ほっとスルメールアプリの「防災関連情報ホームページ」の項目の中にリンクを貼っております。</p> <p>・八戸市公開地理情報システムや防災タウンページは災害時の有効な情報源であることから、今後もほっとスルメールとの連携も含めた運用方法について検討を進めて参ります。</p>	

(2) 水・エネルギー対策の充実

No.	内 容	担当課
12	<p>資料 4-1 意見への対応状況：P19 No.69</p> <p>令和元年度意見書</p> <p>火力や太陽光、バイオマス発電等が集積している当市の利点を活かし、国が進めるスマートコミュニティ施策による、新たなエネルギーネットワークづくりを検討する必要がある。</p>	環境政策課
	<p>意見</p> <p>・スマートコミュニティ施策による新たなエネルギーネットワークづくりについては、国が推し進めているところもあることから、補助等の活用も視野に入れ、地域改革を進めていただきたい。</p>	
	<p>【回答欄】</p> <p>・スマートコミュニティは、再生可能エネルギーの活用の他、ICT や IOT などの最新技術による HEMS 等（新エネルギーネットワーク）によって実現されるものと考えております。</p> <p>・国では地域を選定してスマートコミュニティの実証研究を行っており、今後その検証がされ、課題を整理・解決した上で実装段階に入っていくものと思われれます。</p> <p>・市としては、検証後の推移を見ながら、実施の可否・時期等を検討して参りたいと考えております。</p>	